

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
1	川副クラブ	H	● 1 - 2	九州サッカーリーグ開幕にあたり、ご尽力いただきました関係各位ならびに会場設営および運営等をしていただいた沖縄県協会の皆様、沖縄SVおよび海邦銀行の皆様に感謝申し上げます。 昨年度のメンバーが抜け、大幅なメンバー変更があったため、心身ともにフレッシュなチームで開幕を迎えました。
2	佐賀LIXIL	A	● 1 - 2	1節2節ともに逆転負けを喫し、沖縄を離れる際のカバンの中身は勝点0。しかしながら、両チームからは多くの気づきをいただき、チームの課題をたっぴりとカバンに詰め込んで帰路につくことができました。 3節以降は、得点と勝点を積み上げながら可能な限り上位を目指します。リーグ閉幕までよろしくお願いいたします。
3	海邦銀行SC	H	△ 1 - 1 (PK5-4)	今シーズン初の勝点を手にするための準備を整え、仲間監督率いる海邦銀行SCさんをホームに迎えた。 拮抗した内容ではあったが、コーナーキックから失点。失点と同じカタチで得点できると信じていたとおりコーナーキックから得点することができ同点とする。 試合終盤は被シュート場面が多かったが、なんとかPK戦に持ち込むことができ勝点2を手にすることができた。 仲間監督をはじめ相手選手のピッチ内外での立ち振る舞いは常に紳士的であり、私たちの手本となるものであった。 海邦銀行SCの皆様、遠方までお越しいただきありがとうございました。
4	日本製鉄大分	A	● 1 - 2	未だに勝ち星のない状況を打破し、今後のリーグ戦の状況を好転させるためにまずは1勝を得ようと臨んだ日本製鉄大分さんとのゲームでした。 開始から互いに得点チャンスを作るもなかなか切り切れない状況が続いたものの、経験で勝る相手のカウンターで失点し前半を終えた。 後半は、自分たちのボールを保持する時間の中で、得点を取ることができ、さらに得点ムードが漂ったが、すべてを断ち切るような相手の得点により結果勝利を得ることができなかった。 この試合で得た経験を糧に次節以降、1勝でも多く勝ちを積み上げたい。 最後になりましたが、運営をしていただきました、大分県サッカー協会の皆様、大分工業サッカー部の皆様、ありがとうございました。
5	熊本県教員蹴友団	H	● 0 - 2	強風と雨の中で行われた熊本教員蹴友団とのホーム戦。 普段から強風が吹き荒れる天候の中で練習を行っているが、雨も重なり非常に厳しいコンディションでの試合となった。 前半は押し気味で試合を進めるも得点には至らず、後半にFKで失点し終了間際に追加点を許し完封負けを喫した。 熊本教員蹴友団の皆様、遠方までお越しいただきありがとうございました。
6	九州総合スポーツカレッジ	A	● 1 - 3	学生同士の一戦ということもあり、序盤からミスが展開を大きく変える激しい攻防が続いた。 自チームは相手の攻撃時の勢いを食い止めることができず失点を重ね、また、攻撃時の精度が低いことで試合をコントロールできていないことも勝点につながっていない原因の一つであると考えられる。反省材料から次節以降につながる活路を見出したい。 九州総合スポーツカレッジならびに大分県サッカー協会の皆様、会場設営および試合運営等ありがとうございました。
7	沖縄SV	A	● 0 - 4	序盤からボール保持率は4:6の状況で試合が進み、決定的な失点シーンが続いたがGK木村の好セーブによって前半を0-0で折り返した。 後半、攻撃面ではアタッキングエリア内での精度を欠き守備の時間が増え、相手チームの攻撃面での厚みから失点を重ねることとなった。 チームの状況は上昇傾向にあるため、最下位脱出の必須条件である攻撃力の向上に課題を置き前期の終盤戦に挑みたい。 沖縄SVの皆様、ボールパーソン沖縄SVアカデミーの皆様、ならびに沖縄県サッカー協会の皆様、会場設営および試合運営等ありがとうございました。
8	J.FC MIYAZAKI	H	● 1 - 3	前半は押し込まれながらも一進一退の攻防を展開することができた。 課題となる後半、不運にもPK判定が下され失点。続く2失点目も不運な判定から失点。ロスタイムに大分コンビの息の合ったセットプレーで1点を取り返すも1-3で完敗した。 矢印を向きを変えずに勝点を積み上げる努力を続けたい。
9	九州三菱自動車	H	○ 3 - 0	押し込みながらも得点ができない、その課題はこの試合の前半にも表れた。 0-0で前半を終え、後半の時間が進む中で待望の先制点を奪うことができた。 その後も2点を追加。今季初の勝点3を手にすることができ、ようやくチームに晴れ間がのぞいた。 九州スポーツ総合カレッジの皆様、ボールパーソン鶴見高校サッカー部の皆様、ならびに大分県社会人委員会の皆様、会場設営および試合運営等ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	監督談話
10	川副クラブ	A	○1-0	得点力不足という歯痒い課題を抱えながらリーグの後半戦に突入した。この試合でも同様の状況であった。幸いにも1点を取ることができ、念願の勝点3を手にした。
11	佐賀LIXIL	H	○2-1	前日の試合で大量得点を達成した相手の攻撃は脅威であった。しかし、GKを含めたDF陣が辛抱強く1点を守り、待望の追加点を挙げることができた。 数的優位の状況で攻撃ができないという残念な部分もこのチームらしさかもしれない。課題は山積みではあるが、選手個々の成長に目線を向け、日々の練習に励みたい。 九州サッカー協会および佐賀県サッカー協会社会人連盟の皆様、ならびに審判団の皆様、佐賀LIXIL様、川副クラブ様、ボールパーソンの鳥栖工業高校サッカー部、Brains、佐賀大学サッカー部の皆様、会場設営および試合運営等ありがとうございました。
12	海邦銀行SC	A	○2-1	雨続きの練習環境から梅雨明け後の沖縄に移動しての試合。覚悟はしていたものの、暑さ指数(WBGT)が33℃を超えた時間帯もあり、すべての準備が無になるほどの暑さだった。 試合内容は、相手選手の個の能力に圧倒されながらも試合終了間際に幸運な得点で勝利することができた。 夏場の試合は、選手およびボールパーソンのことを最優先に考えると試合時間を再考する必要があると感じた。 仲間監督をはじめ海邦銀行SCの皆様への心こもった対応にチーム一同感謝しております。 沖縄県サッカー協会社会人連盟の皆様、海邦銀行SCの皆様、審判団の皆様、ボールパーソンのコザ高校女子サッカー部の皆様、暑い中、会場設営および試合運営等ありがとうございました。
13	日本製鉄大分	H	○2-0	後半途中の雷鳴と豪雨で30分ほど一時中断した。水たまりが発生し、ピッチコンディションは不良となった。 試合は相手の猛攻に耐え抜き、前半の2点を守り切って勝点3を重ねることができた。 日本製鉄大分さんの攻撃陣は迫力があり、見習うべき部分が多々ある。この試合で得た感覚を忘れず次節に向けて準備を進めたい。 日本製鉄大分の皆様、ありがとうございました。
14	熊本県教員蹴友団	A	○3-2	前後半を通してボールを支配することができ、タイミングよく得点することができた。 失点に関しては相手選手との技術レベルの差で生じたものであると考える。 見習うべき事柄の多い試合であり、貴重な経験をすることができた。 熊本県サッカー協会社会人連盟の皆様、熊本教員団の皆様、審判団の皆様、ボールパーソンの小川工業高校サッカー部の皆様、雨の中、会場設営および試合運営等ありがとうございました。
15	九州総合スポーツカレッジ	H	○9-0	九州総合スポーツカレッジさんをホームに迎えた。前期の借りを返すべく、心身ともに充実した状態で試合に挑んだ。 前半、セットプレーから得点することができたが、その後の展開は互角であった。 幸運にも前半終了間際に2点を追加できたことが勝因だと感じる。 九州総合スポーツカレッジの皆様、遠方までお越しいただきありがとうございました。
16	沖縄SV	H	●0-2	無敗で首位を走る沖縄SVさんをホームに迎えた。 前期の試合と比較すると、チーム力は何とか太刀打ちできるレベルまで向上したのではないだろうか。 しかし、ボール奪取後の技術要素に関連するミスが多く、有効的な攻撃ができなかったことが敗因だと感じる。 今シーズンの締めくくりとなる全国社会人大会までの期間を大切にしたい。 沖縄SVの皆様、遠方までお越しいただきありがとうございました。優勝おめでとうございます。
17	J.FC MIYAZAKI	A	●0-2	17節 vs. J.FC MIYAZAKI 前半早々にミスから2失点。その後はリトリートして自陣を固める相手に得点することができず試合を終えた。 全国社会人大会に向けて、チームの課題が明確となる試合をすることができた。
18	九州三菱自動車	A	▲1-1 (PK4-5)	18節 vs. 九州三菱自動車 強風と大雨の中での試合。後半に先制することができたが、終了間際に同点とされ、大荒れの天候の中でPK戦に。 滑ったり外したり止めたりといろんなシーンを観ることができた。 九州社会人連盟の皆様、宮崎県サッカー協会社会人連盟の皆様、J.FC MIYAZAKIの皆様、ボールパーソンの鵬翔高校サッカー部の皆様、2日間の準備および運営等ありがとうございました。